

# HiKOKI

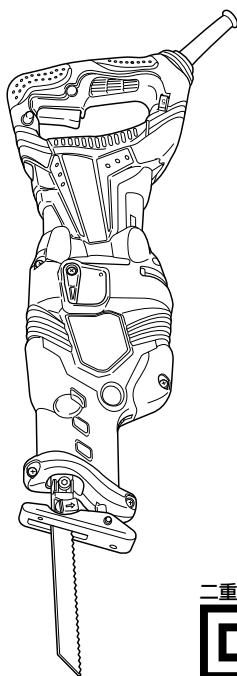
## 取扱説明書

# 電子セーバー CR 13VBY2

### 用途

- パイプ、アングルの切断
- 各種木材の切断および窓抜き
- 軟鋼板、アルミ板、銅板などの切断
- ベークライト、塩化ビニールなどの各種合成樹脂の切断

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



二重絶縁



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。


This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.


はじめに	電動工具の安全上のご注意……………	1
	二重絶縁について……………	4
	本製品の使用上のご注意……………	4
	各部の名称……………	5
	仕様……………	6
	標準付属品……………	6
別売部品……………	7	


使い方	ご使用前の準備・点検……………	11
	ベース位置の調整……………	13
	ストレート切断 / スイング切断…	14
	ブレードの取付け・取りはずし…	15
	切断する……………	17
	窓抜き切断……………	19


その他	保守・点検……………	21
	ご修理のときは……………	裏表紙

## 警告、 注意、 注 の意味について

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

 **注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### 警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**  
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
  - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
  - 作業場は十分に明るくしてください。
  - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**  
電動工具を使用中、体をアース（接地）されている物に接触させないようにしてください。  
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ **子供を近づけないでください。**
  - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
  - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**  
乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

## ⚠ 警告


- ⑥ 無理して使用しないでください。  
安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
  - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
  - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ きちんとした服装で作業してください。
  - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
  - 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
- ⑨ 保護メガネを使用してください。  
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ 防音保護具を着用してください。  
騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
  - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引いてコンセントから抜かないでください。
  - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。  
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。  
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。  
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
  - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。
  - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - コードを点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
  - 延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

## ⚠ 警告

- ⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用しない、または、準備・調整・点検・修理する場合。
  - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
  - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。  
電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ 不用意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  - 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。  
屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- ⑲ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
  - 常識を働かせてください。
  - 疲れているときは、使用しないでください。
- ⑳ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
  - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
  - スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
  - スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。  
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外の物を使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ㉒ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

# 二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に  マークで表示してあります。純正品以外の部品と交換したり、間違って組み立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

## 本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、電子サーボソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

### 警告

- ① **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**  
表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② **直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。**  
製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。
- ③ **作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**  
埋設物があると、ブレードが触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ④ **使用中は、機体を確実に保持してください。**  
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ⑤ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**  
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑥ **誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、ブレードや機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。**  
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

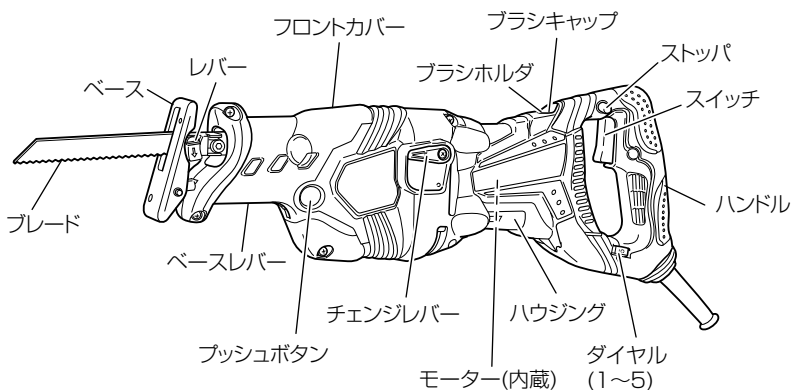
#### ○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

## ⚠️ 注意

- ① ブレードや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。  
確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、ブレードや切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。  
けがの原因になります。
- ③ 使用直後のブレードは高温になっているので、触れないでください。  
やけどの原因になります。
- ④ ブレードでコードを切断しないように注意してください。  
感電の恐れがあります。
- ⑤ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。  
材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。

## 各部の名称

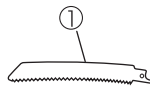


# 仕 様

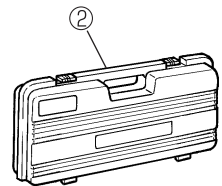
形 名	CR 13VBY2
使 用 電 源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V
切 断 能 力	軟鋼パイプ 外径 130 mm 塩ビパイプ 外径 130 mm 木 材 厚さ 120 mm 軟 鋼 材 厚さ 19 mm
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター
全 負 荷 電 流	15 A
消 費 電 力	1,430 W
無負荷ストローク数	0 ~ 3,000 min <sup>-1</sup> {回/分}
ス ト ロ ー ク	32 mm
質 量	4.5 kg (コードを除く)
コ ー ド	2心キャブタイヤコード 2.5 m

## 標準付属品

① ブレード No.141  
(ステンレス、鋼管用)…………… 1 個



② ケース …………… 1 個



# 別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

## 各種ブレード

作業の能率や仕上げを良くするには、加工物の材質や厚さに適したブレードを使うことが大切です。下の表を参照し、加工物に適したブレードをご使用ください。


- 注** ●表中に記載してあるブレードをご利用ください。表中以外のブレードも取付きますが推奨はできません。
- 表中の最大加工物寸法は、ベースの取付け位置をセーバソー本体に最も近い位置に取付けた場合の寸法です。ベースをセーバソー本体から遠ざけて取付けた場合は、最大加工物寸法が小さくなりますのでご注意ください。
  - 加工物の形状・厚さと、ブレード形状の組合せによっては切断中にロックすることがありますのでご注意ください。

## 【セーバソーブレード一覧】

### 湾曲タイプ

ブレード No.	切断目安 (mm)		山数 (インチ)	寸法 (mm)		鉄材						非鉄金属		合成樹脂			
	厚さ 	適用 管材		全長	刃厚	ステンレス材			軟鋼材			アルミ・ 黄銅・銅	塩ビなど				
						管材		板材	管材		板材		厚さ	外径	厚さ	外径	厚さ
						外径	厚さ	厚さ	外径	厚さ	厚さ						
No.246CW 金属解体用	6 以下	薄物 鋼材	14・18 コンビ ネーション	200	0.9	-	-	-	115 以下	2.5 ~6	2.5 ~9	5 ~20	115 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.247CW 金属解体用	↓		14・18 コンビ ネーション	250	0.9	-	-	-	130 以下	2.5 ~6	2.5 ~9	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.141(S)	↑ 2 以上	ステン レス 管材 厚物・ 薄物	14	150	0.9	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.141																	
No.142(S)			14	200	0.9	115 以下	2.5 以下	2.5 以下	115 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	115 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.142																	
No.143(S)			14	250	0.9	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	130 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.143																	
No.145(S)			↓ 2 以下	ステン レス 管材 厚物・ 薄物	18	150	0.9	60 以下	2.0 以下	2.0 以下	60 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.145																	
No.146(S)					18	200	0.9	115 以下	2.0 以下	2.0 以下	115 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	115 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.146																	
No.147(S)	18	250			0.9	130 以下	2.0 以下	2.0 以下	130 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.147																	
No.148	スパイラルダクト等の 薄物切断用		24	250	0.9	130 以下	2.0 以下	2.0 以下	130 以下	3.5 以下	3.5 以下	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60		



ブレード No.	切断目安 (mm)		山数 (インチ)	寸法 (mm)		鉄材						非鉄金属	合成樹脂		
	厚さ 	適用 管材		全長	刃厚	ステンレス材			軟鋼材			アルミ・ 黄銅・銅	塩ビなど		
						管材		板材	管材		板材		厚さ	管材	
						外径	厚さ	厚さ	外径	厚さ	厚さ	厚さ		外径	厚さ
No.152	↑ 3 以上	極厚・ ステンレス 管材【重作業用】	14	200	1.3	115 以下	3.0 以下	3.0 以下	115 以下	2.5 ~6	3.2 ~19	5 ~20	115 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.152C			9~12 コピ ネーション	200	1.3	115 以下	3.0 以下	4.0 以下	115 以下	3.0 ~9	3.2 ~19	5 ~20	115 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.153			14	250	1.3	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	130 以下	2.5 ~6	3.2 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.154			14	300	1.3	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	175 以下	2.5 ~6	3.2 ~19	5 ~20	175 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.252CW			10~14 コピ ネーション	200	1.3	115 以下	3.0 以下	4.0 以下	115 以下	3.0 ~7	3.2 ~19	5 ~20	115 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.253CW			10~14 コピ ネーション	250	1.3	130 以下	3.0 以下	4.0 以下	130 以下	3.0 ~7	3.2 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.254CW			10~14 コピ ネーション	300	1.3	130 以下	3.0 以下	4.0 以下	175 以下	3.0 ~7	3.2 ~19	5 ~20	175 以下	2.2 ~15	10 ~60

### 湾曲タイプ

〈木材用・ALC用・リフォーム作業用〉


ブレード No.	用途	山数 (インチ)	寸法 (mm)		木材	ALC	鉄材						非鉄金属	合成樹脂		
			全長	刃厚			ステンレス材			軟鋼材			アルミ・ 黄銅・銅	塩ビなど		
							管材		板材	管材		板材		厚さ	管材	
							厚さ	厚さ	外径	厚さ	厚さ	外径	厚さ		厚さ	外径
No.157	ALC用	8	200	1.3	-	110 以下	110 以下	3.0 以下	3.0 以下	110 以下	3 ~6	-	-	-	-	-
No.155	釘入りも 切断可能	8	300	1.3	-	150 以下	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	175 以下	3 ~6	-	-	-	-	-
No.158	木工用 リフォーム用	8	200	1.3	110 以下	-	110 以下	3.0 以下	3.0 以下	110 以下	3 ~6	-	-	-	-	-
No.156	釘入りも 切断可能	8	300	1.3	150 以下	-	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	175 以下	3 ~6	-	-	-	-	-
江戸目 (細目)	木工用	15	200	アサリ 1.3	110 以下	-	-	-	-	-	-	-	110 以下	2.2 ~15	10 ~60	
竹の切断にも最適		15	280	アサリ 1.3	150 以下	-	-	-	-	-	-	-	150 以下	2.2 ~15	10 ~60	
江戸目 (荒目)	木工用	10	200	アサリ 1.3	110 以下	-	-	-	-	-	-	-	110 以下	2.2 ~15	10 ~60	
竹の切断にも最適		10	280	アサリ 1.3	150 以下	-	-	-	-	-	-	-	150 以下	2.2 ~15	10 ~60	

### 湾曲タイプ

〈ブロック・煉瓦・FRP・コンクリート二次製品用〉

ブレード No.	刃先材質	寸法 (mm)	
		全長	刃厚
No.243D	ダイヤモンド	250	1.4

# ストレートタイプ

ブレード No.	切断目安 (mm)		山数 (インチ)	寸法 (mm)		鉄材						非鉄金属	合成樹脂			
	厚さ 	適用 管材		全長	刃厚	ステンレス材		軟鋼材			アルミ・ 黄銅・銅	塩ビなど				
						管材	板材	管材	板材	厚さ		管材	板材			
						外径	厚さ	厚さ	外径		厚さ	厚さ	厚さ	外径	厚さ	厚さ
No.111	↑	極厚・ ステンレス 管材	8~10 コンビネーション	150	1.1	60 以下	3.0 以下	3.0 以下	60 以下	4.0 ~10	3.0 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.112			8~10 コンビネーション	225	1.1	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	130 以下	4.0 ~10	3.0 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.113			8~10 コンビネーション	300	1.1	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	175 以下	4.0 ~10	3.0 ~19	5 ~20	175 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.101		厚物・ ステンレス 管材	10	150	0.9	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.102			10	228	0.9	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	130 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.103			14	150	0.9	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.104			14	228	0.9	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	130 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.114			14~18 コンビネーション	150	1.1	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	2.5 ~8	2.5 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.115			14~18 コンビネーション	225	1.1	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	130 以下	2.5 ~8	2.5 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.116			14~18 コンビネーション	300	1.1	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	175 以下	2.5 ~8	2.5 ~19	5 ~20	175 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.109	2 以下		↓	ステン レス 薄物 管材	18	150	0.9	60 以下	2.0 以下	2.0 以下	60 以下	2.0 ~6	2.0 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15
No.110	18	228			0.9	130 以下	2.0 以下	2.0 以下	130 以下	2.0 ~6	2.0 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.107	スパイラルダクト等の 薄物切断用	24	150	0.9	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	3.5 以下	3.5 以下	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.108		24	228	0.9	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	130 以下	3.5 以下	3.5 以下	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60		

ストレートタイプ (木材用・ALC用・リフォーム作業用)

ブレード No.	用途	山数 (インチ)	寸法 (mm)		木材		ALC		鉄材						非鉄金属		合成樹脂		
			全長	刃厚	厚さ	厚さ	ステンレス材		軟鋼材				アルミ・ 黄銅・銅		塩ビなど				
							管材		板材		管材		板材		厚さ		管材		板材
							外径	厚さ	厚さ	外径	厚さ	厚さ	厚さ	厚さ	外径	厚さ	厚さ		
No.121	木工・ALC用	6	305	1.3	120 以下	130 以下	-	-	-	-	-	-	-	-	130 以下	2.2 ~15	10 ~60		
No.132	リフォーム用	6~11 コンビネーション	203	1.3	110 以下	-	110 以下	2.5 以下	2.5 以下	110 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	110 以下	2.2 ~15	10 ~60			
No.131	リフォーム用	10~14 コンビネーション	305	0.9	-	130 以下	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	175 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	175 以下	2.2 ~15	10 ~60			
No.5	木工用	9	120	0.9	50 以下	-	-	-	-	-	-	-	-	40 以下	2.2 ~5	5 ~30			
No.4	木工用	3	160	0.9	50 ~100	-	-	-	-	-	-	-	-	80 以下	2.2 ~10	10 ~60			

# ご使用前の準備・点検

## ●漏電しゃ断器の設置

本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをお勧めします。

## ●延長コードを使う場合

電気が流れるのに十分な太さの、できるだけ短いコードを使用してください。

右表は使用できるコードの太さと、最大の長さです。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

コードの太さ (mm <sup>2</sup> ) (導体公称断面積)	最大の長さ (m)
1.25	15
2	25
3.5	45

※ 導体公称断面積は、コードに表示されています。

## ●使用電源の確認

- 銘板に表示してある電源で使用してください。  
表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破壊する恐れがあります。
- 直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。  
製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

## ●コンセントの確認

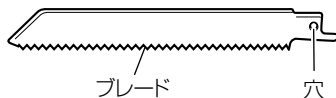
コンセントがガタつく、または抜けやすいコンセントは修理が必要です。

修理には電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店などに相談してください。修理せずにそのまま使用すると、過熱して事故の原因になります。

## ● ブレードの確認

### ⚠ 警告

穴部が摩耗したブレードを使用しないでください。  
はずれたりし、けがの原因になります。



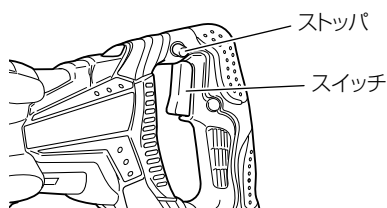
## ● スイッチの確認

### ⚠ 警告

スイッチが入っているのを知らずに電源プラグをコンセントにさし込むと、不用意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。

- 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。  
不用意な始動により、思わぬけがの原因になります。

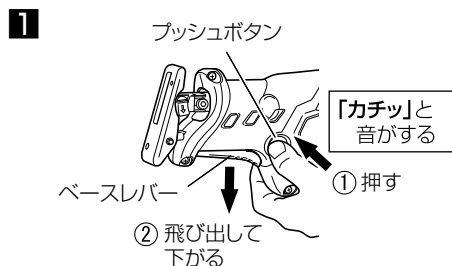
- スイッチは、引くと入り、はなすと切れますので、指をはなしたときスイッチが戻ることを必ず確認してください。
- スイッチを一杯に引いてストップ(右図)を押すと、指をはなしてもスイッチは入ったままで、連続運転になります。再びスイッチを引いて、ストップがはずれてから指をはなすとスイッチが切れます。



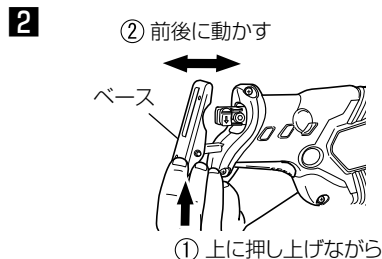
# ベース位置の調整

ツールレス調整機構を搭載していますので、スパナやレンチなどの工具を使用しないで、ベースの取付け位置が3段階に調整できます。切断材料の大きさに合わせ、ベースの前後位置を調整してください。

- 1** プッシュボタンを押すと、「カチッ」と音がして、ベースレバーが飛び出します。この状態で、ベースが調整できます。

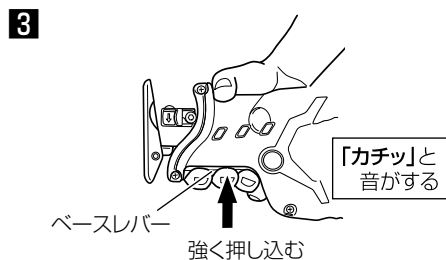


- 2** ベース先端を上押ししながら、約 15 mm 間隔を目安にベースを前後に動かします。(ベースの位置は3段階に調整できます。)



- 注** ベースを外側一杯に引き出すと、取りはずすことができます。誤ってベースを落下させないように注意してください。

- 3** ベースが引っ掛かる位置を探して、ベースレバーを指先で強く押し込みます。「カチッ」と音がしてベースが固定されます。

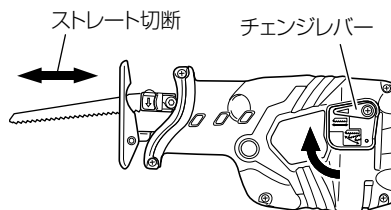


# ストレート切断 / スイング切断

チェンジレバーの切り替えにより、ブレードの動きを直線的に動かすストレート切断と、振り子のように動かすスイング切断の2方式の仕方が選べます。

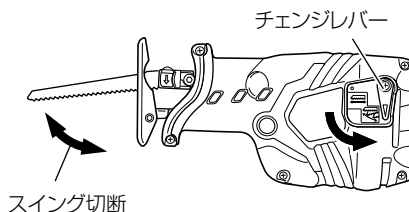
## ■ストレート切断

一般には金属のような硬質材を切断する場合は、チェンジレバーを横向きにセットして、ストレート切断に設定します。



## ■スイング切断

一般には木材のような軟質材を切断する場合は、チェンジレバーを縦向きにセットして、スイング切断に設定します。ブレードが切断材料に勢い良く食い込むため、能率良く切断できます。スイング切断は、ブレードを上下どちらの向きに取付けても能率の良い切断ができます。



- 注** • 軟質材でも、曲線切りやきれいに切断したい場合には、ストレート切断を選択してください。
- チェンジレバー部にごみやほこりがたまると、チェンジレバーの動きが悪くなる場合がありますので、チェンジレバー部を時々掃除してください。
  - スイング切断時にはストレートタイプのブレードを使用してください。湾曲タイプのブレードを使用すると、ブレードを破損したり、機体を損傷する恐れがあります。

# ブレードの取付け・取りはずし

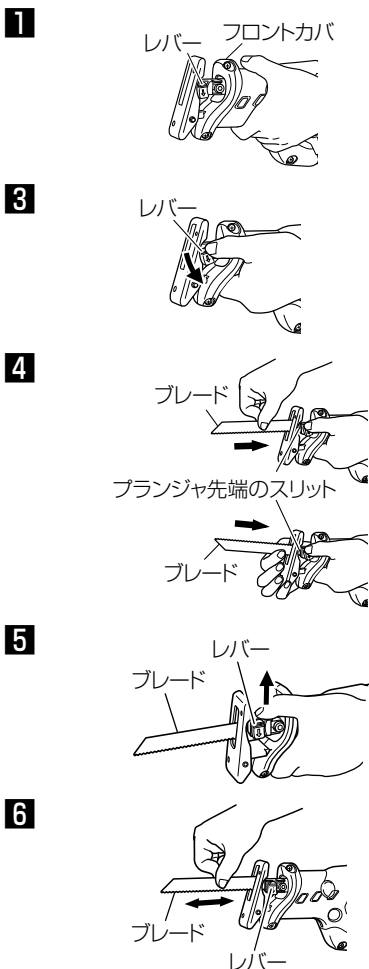
ツールレス着脱機構を搭載していますので、スパナやレンチなどの工具を使用しないで、ブレードの取付け・取りはずしができます。

## ● ブレードの取付け

- 1 スイッチの入り切りを繰り返して、レバーがフロントカバーから最大に飛び出した位置で停止させます。
- 2 スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 3 レバーを右図の矢印の方向(レバーに刻印された矢印と同じ方向)に押し下げます。
- 4 レバーを押し下げたまま、ブレードをプランジャ先端のスリット一杯までさし込みます。ブレードの向きは、作業に応じて上下どちらにも取付けできます。(右図の下は逆方向取付け)
- 5 レバーから指をはなすと、スプリングの力で自動的に戻り、ブレードが固定されます。
- 6 ブレードの背面を指で2～3回引いて、確実に取付けられたことを確認してください。

## ⚠ 警告

- ブレードの取付け・取りはずしの際は、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ブレードを引くときは、必ずブレードの背面を引いてください。刃の付いている部分を引くと、けがの原因になります。





## ● ブレードの取りはずし

前ページ「ブレードの取付け」手順 **1** - **2** の後、レバーを矢印の方向（レバーに刻印された矢印と同じ方向）に押し下げてから、ブレードを下に向けて自然落下させます。自然落下しない場合には、ブレードを指で引いて取りはずしてください。

### ⚠ 注意

使用直後のブレードは高温になっているので触れないでください。  
やけどの原因になります。

### ブレードが折れた場合

ブレードが折れてプランジヤのスリットの内部に残ってしまった場合でも、レバーを矢印の方向に押し下げてから、ブレードを下に向ければ、折れたブレードは自然に落下します。

自然落下しない場合には、ベースを引き抜き（P.13「ベース位置の調整」参照）次の方法で取りはずしてください。

● 折れたブレードの一部がスリットから飛び出している場合：

飛び出した部分を指で引いて取りはずします。

● 折れたブレードがスリットの内部にかくれてしまった場合：

レバーを押し下げて、別のブレードの先端部分を使って、折れたブレードを引いて取りはずします。（右図参照）

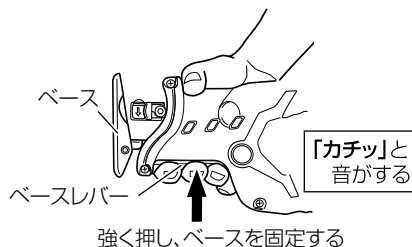
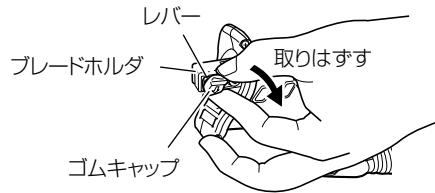
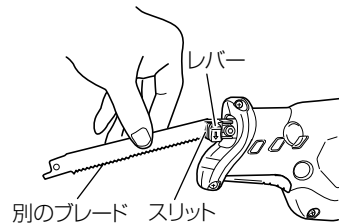
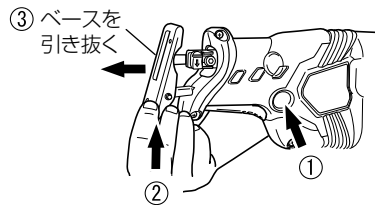
**注** 切粉や粉じんによりレバーの動きが重くなり、指先ではブレードを取りはずせなくなる場合があります。

このような場合は、レバーに付いているゴムキャップを右図の矢印方向に引いて、レバーからゴムキャップを取りはずしてください。

その後に、エアなどでブレードホルダ内部を清掃し注油をしてください。ゴムキャップはレバーに強く押し付けると取付きます。

このとき、ブレードホルダとゴムキャップにすき間がないことを確かめた後、ブレード取付け部の円滑な作動を確認してください。（P.21「ブレード取付け部の清掃・注油」参照）

**注** ベースを戻した後、ベースレバーを押して、ベースを固定してください。

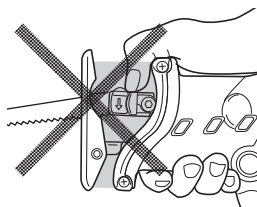


# 切断する

- パイプ、アングル ●軟鋼板、アルミ板、銅板など
- ベークライト、塩化ビニールなどの各種合成樹脂
- 各種木材

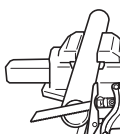
## 警告

- 万一の事故を防止するため、②、③では必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- フロントカバー（下図参照）をはずさないでください。必ずフロントカバーの上から機体を保持して使用してください。
- 作業中に右図の範囲に指を入れないでください。思わぬけがの原因になります。



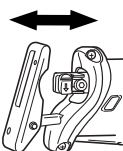
### 1 切断材料を固定する

クランプや万力などに、切断材料がしっかり固定されているかを確認してください。



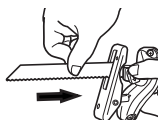
### 2 ベース位置を調整する

切断材料の大きさに合わせ、ベースの前後位置を調整します。  
(P.13「ベース位置の調整」参照)



### 3 ブレードを取付ける

切断材料の材質・厚さ・大きさに適したブレード（種類・長さ）を使用してください。  
(P.15「ブレードの取付け・取りはずし」参照)



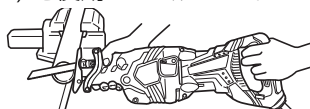
### 4 電源プラグをコンセントにさし込む

### 5 チェンジレバーを設定する

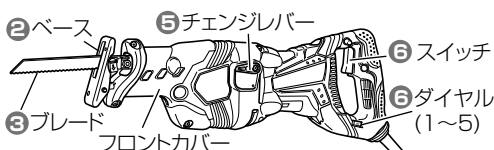
チェンジレバーで、ストレート切断かスイング切断を選択します。  
(P.14「ストレート切断 / スイング切断」参照)

### 6 スイッチを入れる

- ダイヤルでブレードスピードを設定して、切断箇所にはブレード位置を合わせてベースを切断材料に押し当て、スイッチを引きます。（右ページ参照）
- 金属切断時には、切削油（タービン油など）を使用してください。



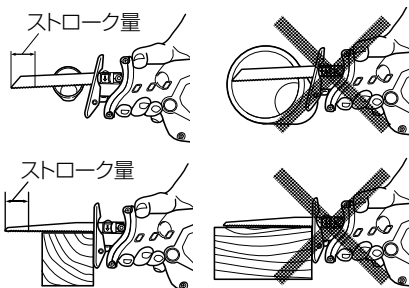
- 注**
- 切粉などがブレード取付け部周辺の凹部にたまるときには、その都度、清掃しながら作業してください。
  - 金属切断時は切削油を使用してください。切削油を使用しないと、ブレードの寿命が極端に短くなります。



## ⚠ 警告

ブレードの長さは、下図に示すようにストローク量 (32 mm) を差し引いたブレードのベースからの飛び出し長さが、切断材料より十分大きくなるように選んでください。

ブレードの切断能力以上の太いパイプや大きい木材などを切断すると、ブレード先端がパイプ内壁または木材に当たって、ブレードを折損する恐れがあります。



## ⚠ 注意

- 能率良く切断するために、ブレードスピードの切り換えを作業条件、切断材料に合わせて調整してください。
- 切作業中はベースを切断材料にしっかり押し当てて切断してください。しっかり押し当てないと振動により、ブレードを損傷することがあります。
- 切断時は、無理な力を加えないでください。ブレードを折損する恐れがあります。
- 小さな円弧に切断する場合は、送り速さを遅くしてください。無理に速く送ると、ブレードを折損する恐れがあります。

## ● ブレードスピードの調節

電子制御回路を内蔵していますので、スイッチの引込み量とダイヤルの両方で、ブレードスピードを作業条件、切断材料に合わせて無段階に調節できます。

- スイッチを大きく引くと、ブレードスピードが上がります。切断を開始するときは、ねらった位置に正確に切込むためスピードを下げて (低速)、十分な切込みが得られてからスピードを上げて (高速)、切断作業してください。
- スイッチ最高速は、ダイヤル目盛りで設定されます。ダイヤル目盛りは「5」が最速で、「1」が最低速です。一般的に木材などの軟質材には高速、金属などの硬質材には低速が適しています。下表を目安に、作業条件、切断材料に合ったブレードスピードに設定して使用してください。

切断材料の例	推奨ダイヤル目盛り
ステンレス / プラスチック・ファイバー板	1 ~ 3
鉄パイプ・錆鉄管・L形アングル / アルミ・黄銅・銅	2 ~ 4
ALC・石こうボード	4 ~ 5
木材・釘が打込まれた木材	5

**注** 低速 (目盛り 1 ~ 2 程度) で木材 10 mm、または鉄板 2 mm を超える厚さの材料を切断したり、低速で長い時間連続して切断すると、モーターに無理がかかり、故障の原因になります。特に、切断中にブレードが停止するような無理な使い方は避け、常に滑らかに切断できるように、ブレードスピードを調節してください。 18

# 窓抜き切断

## ⚠ 警告

- 金属材料の窓抜きはしないでください。  
ブレードを折損する恐れがあります。
- ブレードの先端を材料に押し付けた状態でスイッチを引かないでください。  
ブレード先端が材料に勢い良く当たって、ブレードを折損する恐れがあります。
- 必ず機体をしっかり保持して、ゆっくりと作業してください。  
無理な力を加えると、ブレードを折損する恐れがあります。

木製の合板パネルや薄板木材の窓抜き切断ができます。

### 1 切断材料を固定する

クランプや万力などに、切断材料がしっかり固定されているかを確認してください。

### 2 ベース位置を調整する

ベースの前後位置を調整します。  
(P.13「ベース位置の調整」参照)

### 3 ブレードを取付ける

- できるだけ短くて、厚いブレードを使用してください。バイメタルブレード No.132 をお勧めします。  
(P.7「別売部品」参照)
- ブレードを上下逆向きに取付けると容易に切断できます。  
(次ページ「窓抜き切断のコツ」参照)  
(P.15「ブレードの取付け・取りはずし」参照)

### 4 電源プラグをコンセントにさし込む

### 5 チェンジレバーを設定する

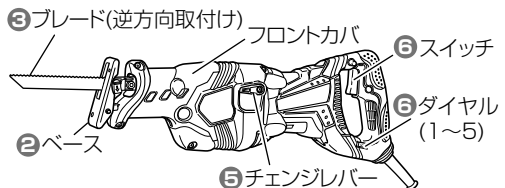
チェンジレバーで、ストレート切断を選択します。(P.14「ストレート切断 / スイング切断」参照)

### 6 スイッチを入れる

ダイヤルで、ブレードスピードを設定します。  
(P.18「ブレードスピードの調節」参照)

### 7 切込む

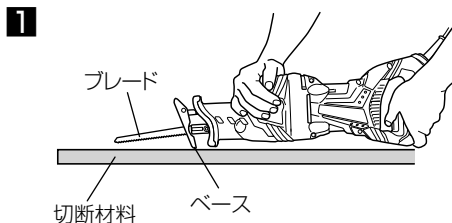
- ハンドルをゆっくり持ち上げて、少しずつブレードを切断材料に切込みます。(次ページの図 **2** 参照)
- ブレードが完全に切断材料を突き抜けるまで、しっかり機体を保持してください。(次ページの図 **3** 参照)



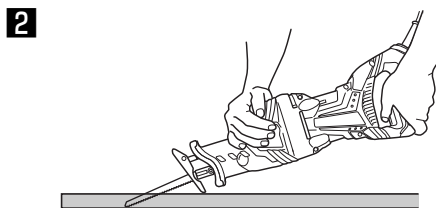
## ●窓抜き切断のコツ

- ブレードを逆方向に取付けると、機体をより寝せた状態で切込みを開始できるため（下図 **1** 参照）スムーズに窓抜きの開始穴をあけることができます。
- 窓抜きの開始穴をあける際、スイング切断で行うと、ブレードがバタつき、効率良く開始穴をあけることができません。
- 開始穴があいた後、効率良く切断するにはスイング切断、きれいに切断するにはストレート切断を選択します。

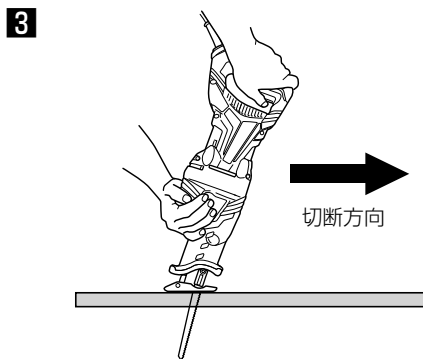
**1** 切断材料にベースを押し当て、ブレードの先端を材料からはなした状態で、スイッチを引きます。



**2** スイッチの引きぐあいで、ブレードのスピードがゆっくりな状態で少しずつ穴をあけます。



**3** スイッチを一杯に引き切断方向に少しずつ進めます。ブレードを上下逆方向に取付けた場合は、機体を逆さにして窓抜き切断します。



# 保守・点検

## ⚠ 警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

### ● ブレードの点検

切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。  
早めに新品と交換してください。

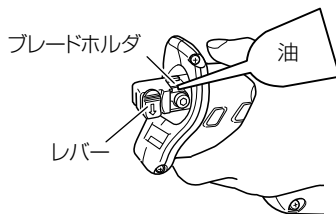
### ● 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。  
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。  
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

### ● ブレード取付け部の清掃・注油

ブレード取付け部周辺の凹部に切粉・土・砂・水分などを付着したままにしておくと、ブレードホルダ周辺部がさびついて機体内部の故障の原因になります。  
ベースを取りはずして(P.13「ベース位置の調整」参照)、清掃・注油してください。

- 注** ● ブレード取付け部をいつも円滑に動かすため、使用後は、切粉・土・砂・水分などをエアで吹き飛ばすか、ブラシなどで清掃してください。  
● 右図のように、ブレードホルダ周辺部に切削油などを定期的に注油してください。



### ● モーターの取扱いについて

モーター(内蔵)(P.5各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

- 注** 50時間ぐらい使用しましたら、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジングの風穴から吹き込んでください。ゴミやほこりの排出に効果があります。  
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

### ● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。  
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

## ● 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

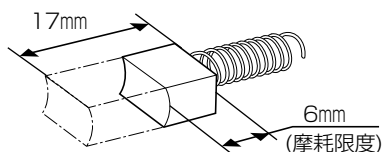
- 注**
- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
  - 軒先など雨が掛かる場所、湿気のある場所
  - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
  - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

## ● カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度(6mmぐらい)になりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取り除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由に滑るようにしてください。

- 注** 新品のカーボンブラシと交換の際は、必ず弊社指定のカーボンブラシを使用してください。



## ● カーボンブラシの交換方法

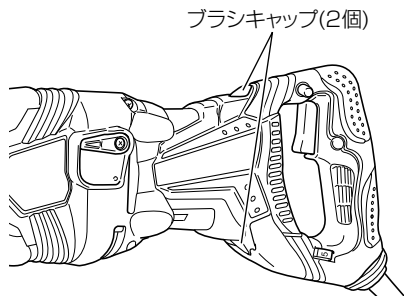
### 1 古いカーボンブラシを取り出す

マイナスドライバーなどでブラシキャップをはずして、古いカーボンブラシを取り出します。



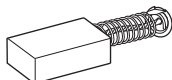
### 3 ブラシキャップを取付ける

ブラシキャップでカーボンブラシを押しさえ込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。



### 2 新しいカーボンブラシを取付ける

ブラシホルダの角穴に合わせてカーボンブラシを指で押し込みます。



# ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。  
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ  
お問い合わせください。

## お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理  
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

## 全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。  
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。  
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、  
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点  
をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに  
アクセス

バーコードリーダー機能付きの  
携帯端末より読み取ることで、  
最新の全国営業拠点をご確認い  
ただけます。



# 工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)  
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>